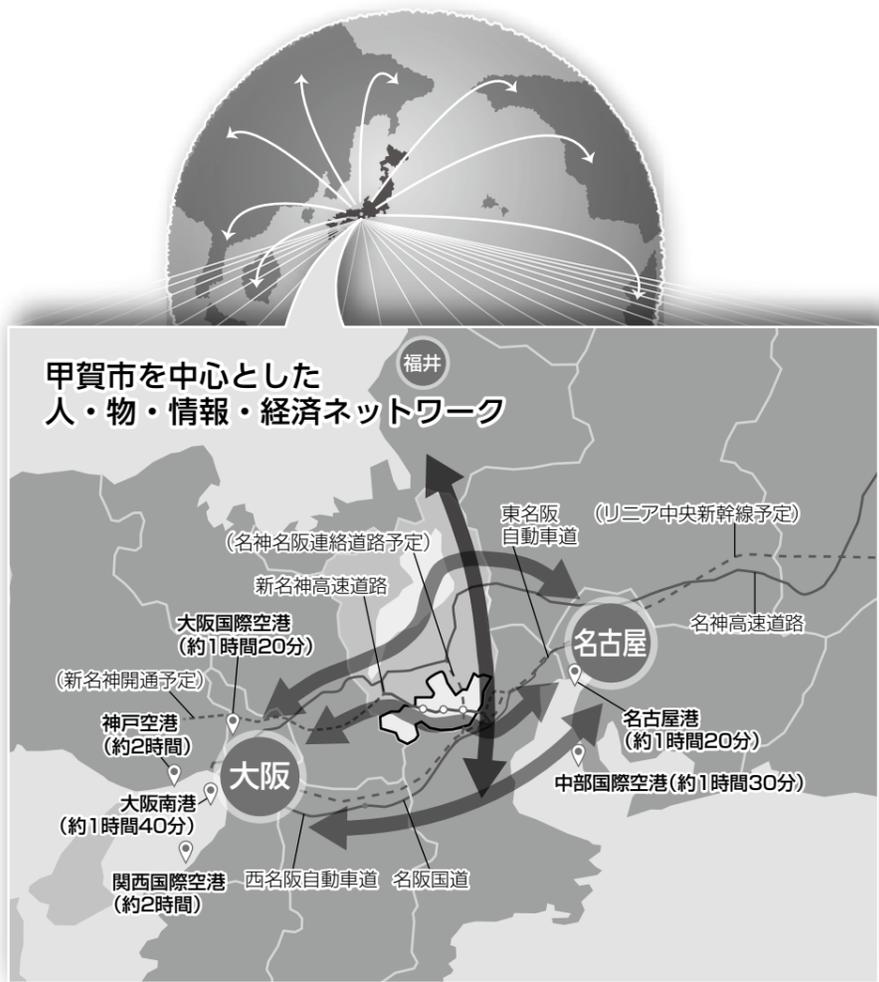


人・物・情報・経済の結節点

飛躍する交流都市「こうか」

甲賀市は、日本の中央に位置し、「西日本と東日本」、「日本海側と太平洋側」の文化、産業の結節点にあります。
この恵まれた地の利を滋賀、日本、そして世界に発信する広域ネットワークを創造し、域内経済の好循環を導きます。



充実した交通アクセス

古くから東海道や伊勢街道などが通る交通の要衝として栄えた本市は、平成20年2月に新名神高速道路が開通し、市内には、信楽、甲南、甲賀土山の3カ所にインターチェンジが設けられました。土山サービスエリア、甲南パークングエリアも設置され、通行量は開通前に予想された一日平均1万4千台を大きく上回り、昨年は約4万6千台/日の車両が、人・物・情報を運んでいます。このように、交通アクセスの利便性による物流コストの低減や時間距離の短縮は、大消費地である大阪・名古屋から約100km圏内に位置する本市の立地優位性をさらに高めました。

この先、名神名阪連絡道路やリニア中央新幹線が整備されるなど、道路、鉄道の将来性は好転し、近畿

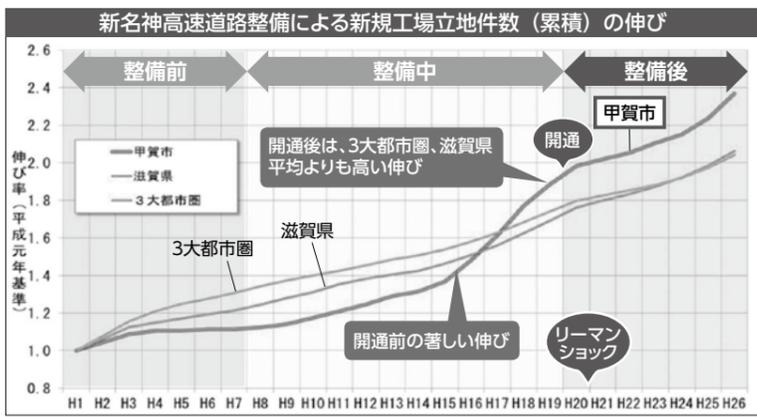
土地利用規制の見直し

将来の急激な人口減少に対応するには、土地利用の見直しが必要で、そのために、市街化調整区域における自己用住宅等の規制を許容し、空家活用などによる地域コミュニティの活力の維持を図ります。

また、JR草津線、信楽高原鉄道、近江鉄道および主要幹線道路の沿線においては、土地利用規制を大幅に見直し、良質な宅地の誘導により、新しい「ひと」の流れを生み出すこととしています。

企業立地のさらなる促進

本市は県内にある66工業団地の594企業の内、42%が集積する工業都市で、県内トップクラスの進出企業数を誇っています。新名神の開通により、市の製造品出荷額が平成15年の約1.5倍に増加し、県内では9年連続1位です。さらに新規工場立地件数の伸び率は三大都市圏以上となっています。



また、現在、名神高速道路の蒲生インターチェンジと名阪国道の上柘植インターチェンジを南北に結ぶ名神名阪連絡道路が整備されると企業立地の促進、雇用機会の創出などにつながる事が期待できます。

①(仮称)甲賀北工業団地の整備
立地特性を生かした新産業基盤の構築と企業誘致を行い、雇用の創出と人口の定住化の促進を図るため、工業団地整備の実施に向けた事業計画を進めています。

②土山SA周辺地域活用および甲南IC・PA流出経路の検討
新名神を活用したまちづくりを進めるため、周辺地域との連携を図り、地域の活性化に向けて、関係機関と協議を進めています。

③名神名阪連絡道路整備の推進
滋賀県と三重県両地域の産業・経済・文化振興のほか、災害時の緊急輸送路である地域高規格道路の整備実現をめざし、関係機関との連携を図り、整備区間指定に向けた取り組みを進めています。

交流人口の増加・地場産業の振興

交流人口の増加は、消費の拡大や、産業や観光の振興、雇用の創出など、地域経済の活性化を導きます。

また、地域間の交流拡大はまちの魅力の再発見や、伝統文化の継承と新たな文化の創造、さらには定住の促進や市内への移住に発展することも期待されます。

人口減少対策として市が策定した「甲賀の國づくりプロジェクト」では、平成31年度の年間観光入込客数の目標を314万人としており、一人千円の消費喚起で31億円余りの観光産業市場が見込めます。

本市は世界に誇る甲賀流忍者をはじめ、豊かな自然やお茶などの農産物、貴重な仏像など国内有数の歴史遺産、東海道宿場町としての交流文化など、地域色豊かな文化を有しています。

とりわけ史跡紫雲宮跡や信楽焼をはじめ、地場産業として今後も続く配置業商法など、固有の文化や産業を地域資源として有効に活用、PRすることで、より質の高い観光・交流地域となることを目指しています。

取り組み

- ① 忍者観光戦略**
国内外から多くの観光客を呼び込むため、忍者にまつわるひとものことを発掘創造します。また、本物の「甲賀流忍者」をコンセプトに観光プロモーションに取り組み、忍者をテーマとした観光都市ブランドの確立をめざします。
- ② 隠れた魅力を内外に発信**
随筆家白洲正子の著書「かくれ里」にも描かれ、現在、東京国立博物館で展示されている櫛野寺の十一面観音菩薩坐像をはじめ、市内には、100躯を超える仏像が文化財に指定され、歴史や文化を継承する古刹や原風景が数多く残されています。これらの隠れた魅力を掘り起こすとともに、地域の伝統的な民俗などと連携して、観光資源のさらなるPRと観光誘客に取り組めます。
- ③ 海外販路開拓**
世界的な日本食ブームを背景に、地場産業(信楽焼など)と地場産品(近江のお茶、地酒など)の魅力在海外に発信するとともに、海外への販路開拓に必要な施策を進めています。